



マリーン・エンゼル

MARINE ANGEL



会員の皆様
の声を
お伝え
します。
「会員
だより」

安全推進マリーナに認定!!

～プレジャーボートの安全を推進します～

海を守りたい、人を守りたい。

公益社団法人 **中部小型船安全協会**

名古屋市港区港町1番11号 名古屋港湾会館3階

TEL (052) 653-2407

FAX (052) 653-2414

ご挨拶



第四管区海上保安本部長

平田 友一

公益社団法人中部小型船安全協会並びに会員の皆様方におかれましては、平素から海上保安業務に対し、格別のご理解とご協力を賜り、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

貴協会及び会員の皆様におかれましては、昭和48年の発足以来、愛知県、三重県の沿岸海域

において、小型船舶の海難を防止するとともに、運航マナーの向上を図ることにより、安全で秩序ある海洋レジャーの普及と発展に寄与するとの崇高な理念の下、海難防止活動にご尽力され、プレジャーボート等小型船舶の安全の推進、海難の減少のため、自ら活動いただき、改めて感謝を申しあげる次第です。

さて、船舶海難については、これまでの関係者の皆様の努力により、減少傾向にあります。プレジャーボート等の小型船舶事故につきましては、平成12年頃から増加し、現在では船舶海難の約半数を占めるにいたっております。

当管区が管轄する愛知県及び三重県沿岸におきましても同様であり、プレジャーボートの海

難防止は当庁にとって大きな課題となっております。

当本部といたしましては、プレジャーボート等小型船舶の安全対策の充実、強化策の一つとして、今年4月から全国初となる「安全推進マリナー」認定制度をスタートさせました。

この制度は、安全活動を積極的に行うマリナー等を「安全推進マリナー」として認定し、マリナー等における自主的な安全活動を支援することにより、事故防止を図ることを目的としております。

認定を受けたマリナーは、自主的な安全活動を行うほか、海上保安官を講師とした安全講習会の開催や巡視艇と海上安全指導員が乗船する安全パトロール艇による合同パトロールといっ

た安全活動を実施していくこととなります。

マリナーレジャーの健全な発展のためには、官のみでなく、関係者の皆様により、プレジャーボート等の事故を一つでも減らし、安全・安心な環境を醸成し提供していくことが不可欠であり、貴協会及び会員の皆様のご理解とご協力を期待するところが大きいです。

当本部といたしましても、引き続き皆様方と連携を密にして積極的に活動を支援していくこととしておりますので、今後とも、宜しくお願い申し上げます。最後に、貴協会と会員の皆様のおますますの発展とご多幸を祈念し、挨拶とさせていただきます。

当協会のマリナー会員が「安全推進マリナー」に認定

平成27年6月3日、当協会マリナー会員である「名古屋トヨペット㈱NTPマリナーりんくう」「㈱東海マリンサービス」「㈱ラグナマリナー」「㈱マリナー河芸」の4か所のマリナーが、第四



管区海上保安本部長から安全推進マリナーの認定を受けました。安全推進マリナー制度は、第四管区海上保安本部がプレジャーボートの海難の減少を図ることを目的として本年4月、全国で初め



て創設したもので、今回が初めての認定であったことから多数の報道機関が集まり記者会見が行われました。本制度の趣旨をご理解いただき、今回認定を受けたマリナーに



続いて、多くのマリナー会員が、認定を受けられますようお願いいたします。

表彰受賞 海上安全指導員

平成27年7月22日、名古屋港湾合同庁舎別館において、当協会会員で海上安全指導員の杉浦氏、

杉野友紀氏、杉浦弘造氏の御三方が名古屋海上保安部長表彰を受賞されました。

御三方は、海上安全指導員として、多年にわたり小型船の安全指導、健全で秩序ある海洋レクリエーションの普及に尽力され、海上交通の安全確保に功績を残されたものです。

誠におめでとうございます。ますますのご活躍を祈念します。



左から杉浦氏、杉野氏、新美氏

表彰区分	表彰者氏名(会員)
名古屋海上保安部長表彰	新美 孝
名古屋海上保安部長表彰	杉野 友紀
名古屋海上保安部長表彰	杉浦 弘造



◆新美 孝氏



翌年平成16年にマリリーナ営業課に移動になり、取り扱いが車から船へと変わりました。そして平成25年のマリリーナりんくうオープンとともにマリリーナりんくうを拠点に活動しております。

海上安全指導員として活動するきっかけは上司の勧めでした。マリリーナ営業の日常業務は船の販売だけでなく、オーナーへの安全に対する啓発活動や、レンタルボートクラブ入会者への初回講習にて、安全なコーラス説明や島まわりの危険な場所の説明や船の取り扱い説明をして、事故なく安全にマリンレジャーを楽しめるようサポートしております。
近頃のレスキューは機関故障が多

私は平成4年に名古屋トヨペットの新しい販売課に入社し、マリリーナ高浜立ち上げの

◆杉野友紀氏



いと思いますので、オフシーズンのメンテナンスだけでなく出航前にオイルや水の確認を勤めていきます。これからも私だけでなく、マリリーナスタッフ全員で皆様がマリンレジャーを楽しんでいただけるようサポートさせていただきます。

私は、高校を卒業後、平成14年に株式会社社中日本開発に入社し、現在に至ります。

私が海上安全指導員になつたきっかけは、弊社にマリン事業部があり、免許を取得後、上司からの薦めもありましたが、少しでも海に携わる仕事のお手伝いが出来ればいいな、という思いがきっかけでした。
女性海上安全指導員として出来る役割をご指導いただきながら、今日まで務めて参りましたが、今回このような賞を受賞出来たのも周囲の

◆杉浦弘造氏



方々のおかげだと感謝しております。海上安全指導員として海上保安庁の方々と共に、これまで合同パトロールや救命講習、災害応急支援活動など、海難防止や災害対策に関わる活動に取り組んで参りましたが、私自身、まだまだ経験不足で未熟なところもたくさんあると痛感しております。

現在、弊社でも救命講習を積極的に行い、緊急時に冷静に対応できるように訓練を実施しております。

本年も海のレジャーシーズンを迎え、プレジャーボート等の海難事故防止と航行の安全確保について今後、女性海上安全指導員として出来ることを、微力ながらお役に立てればと考えております。

私は、西尾市一色町にある石川農機株式会社船修理センターに勤務して35年になります。

漁船、プレジャーボートと毎日海に関わる仕事をしており、漁師さんと接する中で色々と勉強させてもらうことも多々あります。

海上安全指導員は、平成18年の4月に指定を受け、先代社長の後を引き継ぐ形で活動を始めました。

工作上、佐久島、日間賀島、篠島にも知り合いが多く、釣りに行くプレジャーボートのお客様に漁師さんとトラブルが起きないように、いろいろ説明しています。

三河湾は海苔の養殖業者が多く、夜間に海苔網に乗揚げる事故がよくありました。現在は、海苔業者の減少とGPSの普及によりかなり少なくなりました。

最近では釣行場所も伊良湖を越えて太平洋と遠くなり、救助依頼で曳航も3〜4時間かかることもあります。荒天候の時などは曳く船も曳かれる船も大変です。

出航前のちょっとした点検で防げる事故も多くあるので、船長さんに声掛けして、これからは海上安全に協力していこうと思います。

三河地区 出艇式区

7月20日、晴天の下、豊橋港神野ふ頭・カモメリアマリンステージにおいて中部小型船安全協会主催の出艇式が盛大に行われました。

出艇式には、海上安全指導員、中部小型船安全協会関係者等が参加し、小栗会長から、小型船舶の安全運航に向けての決意が述べられました。

このほか、来賓として、第四管区海上保安本部杉浦交通部長、三河海上保安署中村署長、衣浦海上保安署山根署長が参列されました。



視閲に応える安全パトロール艇



海上安全指導員に敬礼する一日港長と会長



小栗会長



豊橋海洋少年団の3人が「一日港長」、「巡視艇一日船長」、「安全パトロール艇1日船長」に任命されました。



海上安全指導員の皆様

四日市地区 出艇式

7月26日、晴天の下、マリーナ河芸において中部小型船安全協会主催の出艇式が盛大に行われました。

出艇式には、海上安全指導員、海難防止強調運動推進四日市地区連絡会議関係者、第四管区海上保安本部交通部田中企画調整官、四日市海上保安部渡邊部長、中部小型船安全協会関係者等が参加しました。



海上安全指導員に敬礼する副会長



視察に応える安全パトロール艇



沖では巡視艇が放水で出艇船を歓迎



服部副会長



「一日海上保安官」と「一日海上安全指導員」



四日市地区恒例の全体記念写真です。

会員だより

中部小型船安全協会会員の
皆様の現況やコメントを
お知らせします。

◆清水幸和 氏

私が海上安全指導員になったのは、昭和49年8月で、丁度、海上保安庁の海上安全指導員制度が始まった年でした。

当時、海上保安部から各マリナー関係者にお声が掛かり、二十数名が海上安全指導員になりましたが、40年経ち、その当時に指導員になった方々も数える程になりました。

私は、最初はマリナーの客として、ボートでよく海に出ていたこともあり、縁あって、昭和50年から衣浦マリナーの支配人となり、現在に至っています。

今まで約40年間、マリナーの仕事



をしながら、プレジャーボートなどのマリンスポーツの世界を見てきましたが、やはりバブルの頃が一番賑やかだったと思います。色々流行もありました、水上スキーから始まり、ジェットスキー、ウエイクボード、今はフライボードでしょうか。

日本でジェットスキーが出始めのころは、ジェットスキーの販売も手がけ、物がなくてアメリカまで直接買い付けに行ったり、ロタ島でダイビングショップを始めた時には、グアム島からロタ島まで7時間かけて

ダイビングボートを回航したこともあり、色々経験させてもらいました。

現在は、当マリナーを利用されるお客さんは、釣りをする方がほとんどですが、神島付近まで行かれる方もお見えで、マリナーとして、これからもお客さまに事故の無いようサポートしていきたいと思っています。

海上安全指導員も高齢化が進んでおり、若い方にも指導員になって頂きたい、また、昔に比べると指導員の集まる機会も少なくなつて少し寂しく思います。

◆木田正樹 氏

私は伊勢市在住で今年の8月に50才になりました。

夏の生まれのせいか小さい時から海が好きでマリネレジャーの時期になると、わくわくしていました。

マリネレジャーと言っても潮干狩りと海水浴ぐらいでしたが家族や友達と楽しく過ごしたのを覚えています。

船舶免許取得のきっかけは過去に

何度か誘われたりチャンスはあったのですが、中々現実のものにならずに諦めていた折り、かねてより交流のあったマリナー伊勢の濱田社長に背中を押して頂いて取得する事が出来て、以来楽しく次々ステップアップしました。

手の届かぬ物と諦めていた船や水上バイクも社長の親身なアドバイスにより乗ることが出来て、鳥羽の離島出身の父に故郷の海で釣りをさせ好きな煮魚をたらふく食べさせる夢が叶いました。

そんな中、海上安全指導員制度を知り、近所の鳥羽海上保安部に勤務されていた方に色々ご教授を賜り、中安協の推薦あつての任命である事などを知り、交通課長にも面談頂いたりして道路に交通安全協会が在る様に海にも安全協会が在るのなら是非活動したいと思い9月から10月かけて入会、海上安全指導員の拜命となりました。

新聞記者さんも来られている指定書伝達式において任務の重要性和活



愛艇と木田氏

動の意義を強く認識して自身の安全意識の向上と呼びかけを決意しました。初活動で旗を掲げ腕章を巻いた時は気持ち引き締まりました。マリナーフティガイドやMICS誌を渡して「ご苦労様」と言ってもらった時は嬉しかったです。

今までバイクツーリングしか無かった趣味が海が加わった事により格段に拡がり釣りや水上バイクを通じて仲間と共有して愉しむ自然の中での時間は最高で、20才の息子も昨年特殊免許を取得したので今年は更

に楽しみます。

伊勢から鳥羽に向かう航路には有名な夫婦岩があり海からの眺めは素晴らしいですが、この海域は遠浅の穏やかな印象とは対象的に北寄りの風が吹くと波が立つて思わぬ難所となります。また鳥羽湾は大型船の往来も激しく充分な見張りが必要です。

今後も自身の安全意識や知識・技術を高めながら海を使わせて貰う一人として事故防止と海の美化に努めていきたいと思えます。

◆早苗 由隆 氏

釣り愛好家復活！

マリナー勤務も3箇所目となりました。以前は多少釣りもしましたが、魚が沢山釣れたことがほとんどないまま、すっかり釣りから離れていました。現在のマリナーで働き始めた頃もあまり興味を示さなかったのですが、お客さんの釣果を見ているうちに段々と気にはなってきました。そんな日がしばらく経って、お客さんからの誘いに、「ま、たまには行っ



てみるか」と返答しタイラバやジギングのルアー釣りに挑戦したところ、マダイやワラサをゲット！気分を良くした私はそこから徐々に道具を買い始めました。釣り方はもちろんルアーフィッシング。重さ100〜200g程度のタイラバやジグを使ってるので大物が来たときのやり取りや緊張感が本当に楽しいです。今ではすっかり道具も増えてマリナー内に揃えてあります。また、今のマリナーでは魚に困ることはまずありません。毎日のようにお客さんが

出港するので、大量に釣ってくるものが多々あります。同じ魚を大量に釣ると、分けてくれることが結構あり、季節にもよりますが様々な取れたて魚を食べています。最後になりましたが、今の目標は大物のブリとマゴロ釣り。道具の仕込みはバッチリなのであとは腕次第！

◆寺田 順 氏

夢は良き相棒と共にヨットで日本一周
海を愛する仲間を
一人でも多く集めたい！

これが私の思い描く昔からの Motto である。私は当初、海保での就職も考えたが、より仲間を集めやすい地元のヨットハーバーに就職した。その後ヨットハーバーを退職し現在の五ヶ所湾ボートサービスを立上げ、海に関する様々な仕事を毎日こなしている。現在の仕事の柱は
・五ヶ所湾での観光船と海上タクシー
これが一番やりたい企画なのだが、とにかく要望が少ない。月に4、5回といったところ。

・観光体験ワールド

観光協会が主催するこの企画で林業体験、料理体験や漁業体験などがある。この漁業体験の中でタイの εργασari 体験があり、大阪や京都方面の小学生も来ている。4から5月頃のタイは小さく直接触れることもでき、大変盛り上がる企画となっている。私にはこの際必ず言う言葉がある。「海は広い。あなたの心はもっと広い。」子供たちはいつも笑っているが当の本人は大真面目だ。

・小型船舶免許の教習

車と違い小型船舶の免許は僅か2日で取れてしまう。このためか、免



許取得後直に一人前と考えがちだが、

ここでも私の一言がある。10年たっても事故を起こす人もいるくらいなので、いつまでたつても初心を忘れずに。

・釣り船

これが一番の稼ぎ頭。ジグ、エサ、泳がせなど釣り方はお客様の要望でも何でもOK。魚種も豊富でタイにハマチにヒラメもいける。要望があればエサ用のイワシも近所の生簀から調達可能。この様に毎日海と共に過ごし、海を愛する仲間も大勢できかなり充実している。今は最高の相棒も1人おり、自慢のクルーザーヨットでの日本一周に向け日程調整中である。

◆金森規之氏

私は、鉄工所及び三菱重工業の職を経て、美容師の妻と結婚すると店を手伝おうと資格を取得してカナモリ美容院を開業、美容師を辞めてからは、海上安全指導員などのボランティア活動を続けています。

海上安全指導員になった理由は、

昭和61年頃、モーターボートとクルーザーヨットを所有し、四日市沿岸遊漁クラブラブに加入していた時、同クラブの会長から進められたからです。

今までで最も記憶に残っているのは、約15年前、長島温泉の南側において、強風によりパワーボートのアンカーが海底に食い込み、引き揚げられずに動けなくなってしまったため、その救助に向かった時のことです。私ともう1名で救助に向かったのですが、現場では15mの強風が吹き荒れていて、何とかアンカーロープを切つて横抱き状態とし、赤須賀漁協のと



ころまで引き入れたことです。すごく大変な思いをしました。

趣味としては、設計して何かを作るのがすごく好きで、お祭りの山車などの精巧な模型を作っています。

四日市富田地区には「鳥出神社の鯨船行事があり、四隻の鯨船が練りだし、鯨漁を再現するお祭りです。

製作するのは保存会の役員として修繕に関わったことがあり、図面を持つている権現丸の模型で、12分の1の60cmの大きさ、紙・ダンボールなどを利用して、彫り物は木材で同じように彫り、横幕は金色の布を模様に合わせて細工、綺麗に塗装を施して完成させます。

製作期間は、毎日3時間の作業をして概ね1ヶ月半、これまでに13隻を作成しており、地元の小学校、幼稚園、市民センター、博物館などに無償で提供しています。

細かい作業ですが、諦めなければ誰でもできるし、作り方なら教えるので色々なところで作ってほしいです。



船のクイズ



回答は下を見てね

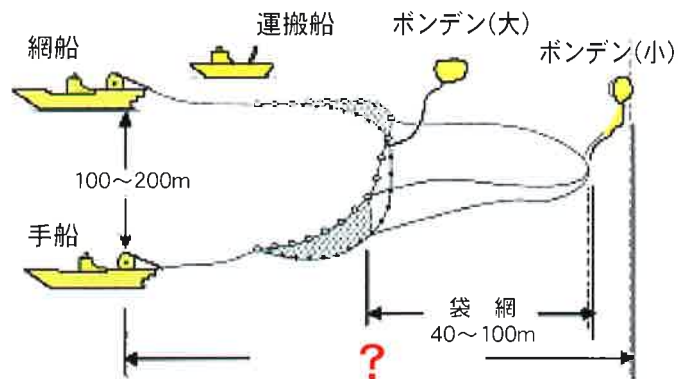
クイズを通して安全運航の知識を身につけましょう



Q. 伊勢湾・三河湾ではシーズンになると多くの二そう曳き漁船が操業しますが、曳き網の長さは何メートルになるのでしょうか？

- ① 約100m
- ② 約500m
- ③ 約1000m

船びき網漁業操業イメージ図



答え：② 曳き網は、海上から見えないので注意しましょう。
漁船団を通過する際は、十分な距離を取りましょう。

紹介 会員マリーナ

衣浦マリーナ



～魚釣るなら衣浦マリーナ～
所在地 愛知県碧南市道場山町3-21
電話 0566-41-2558

当社マリーナは愛知県碧南市の衣浦港に面し、お客様とのふれあいを大切にしたアットホームなマリーナです。

昭和48年6月のオープン以来、小型から中型の船を中心に、55隻の陸地保管と20隻の海上保管を行っています。

日間賀島、篠島といった絶好のレジャーポイントや、伊良湖や神島な

どのフィッシングポイントへも近く最高の立地条件です。

また、年間を通じてシーバス大会、ジギング大会などのイベントも行ってまいります。

マリーナに隣接するショップ「パイレーツ」にはシーバス用ルアー、竿など豊富に取りそろえており、メガバスのプロスタッフが生住し、釣りをサポートさせていただきます。

衣浦港内専用のレンタルボートも3人乗り、5人乗りの2隻を用意しておりますので、ご利用下さい。

また、中古艇も取り扱っておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

当社マリーナにはまだ、多少の空きスペースもございますので、是非一度お越し下さい。スタッフ一同心よりお待ちしております。



NTPマリーナ高浜



～家族と楽しむ海～
所在地 愛知県高浜市青木町1-1
電話 0566-54-5300

当社は、「マリーナりんくう」と「マリーナ高浜」の2つのマリーナを受け皿にし、幅広いボートオーナーに対応できるよう運営しております。

その中でこちらの「マリーナ高浜」は、「家族と楽しむ海」をコンセプトにし、文字通り家族で楽しめるマリンスポットを目指しており、営業メニューには、免許教室、サービスマスター業務、レンタルなどがあります。

マリーナのイベントとしては、「キス釣り&バーベキュー」、「トロリーング大会」、「ジギング大会」、「クリスマスパーティー」等を開催し、オーナー様に楽しんでいただいております。

す。

さらに、今年からは、年間を通して楽しめる「釣り」に力を入れ、フィッシングマリーナ化へ向けた展開をします。

スタッフには積極的にボート釣りをマスターさせるための体制を整え、高浜らしい「ボート釣りに特化した情報発信」が出来るよう頑張ります。

今後はもう少し釣りに関するイベントを充実させていきたいです。

(店長 中村 崇)



スズキマリリーナ三河御津



～マリンスポーツを身近に～
所在地 愛知県豊川市御津町御幸浜 1-1-25
電話 0533-76-3521

東名高速道路、音羽蒲郡インターチェンジから車でおよそ20分という豊川市御津町に位置しているスズキマリリーナ三河御津。三河湾の最奥部に位置し、平成6年の開港以来『マリンスポーツを身近に』のコンセプトの基、豊川市、豊橋市、蒲郡市など近郊にお住まいの方はもちろん、名古屋方面、関東方面の方まで多くのみなさまにご利用いただいております。周辺には有名な温泉やアマミズメントスポットも豊富でファミリーで楽しめる環境が整っています。目の前に広がる三河湾では、四季

を通じてさまざまなフィッシングを楽しむことができ、周辺には佐久島、日間賀島、篠島などボートでのアクセスが可能な宿泊施設を備えた島々が点在します。

シーズンには海水浴、バーベキュー、潮干狩りなども楽しめます。また、スズキマリリーナではボートオーナーだけでなく、レンタルボートシステムにより、釣りやクルージングをお楽しみいただけます。その他、各種オーナーイベント、ボートの販売、免許スクール、メンテナンスまで皆様のマリライフをサポートさせていただきます。



日産マリリーナ東海 鳥羽マリリーナ



～抜群の環境～
所在地 三重県鳥羽市千賀町字釜ヶ谷58
電話 0566-41-2558

鳥羽マリリーナは絶対の自信のある2つのポイントがあるのでご紹介させていただきます。

1. 抜群の環境

的矢湾内で、さらに千賀浦の一番奥に位置する環境は、三方を囲む山々が強風を遮断し静穏な水面となっております。台風の影響をも受けにくいなど、マリリーナにとって最適な環境となっております。また、マリリーナ内には当社が販売するトレーラーハウス

専用のスペースがあり、自然豊かなリゾート地として、県内はもとより県外からも多数の会員様が来場され、さらに海の駅としての利用も多数あります。

2. 近い釣り場

日本一様々な魚の釣れるマリリーナとして売り出しています。湾内ではマゴチやキス、湾を出ればアオリイカやカマスなど、また、好漁場として知られる黒瀬や油瀬ではマダイやイサキ、大王沖ではブリにヒラマサなど底物から回遊魚まで大量の釣果が期待できます。なかでも最大魅力が13マイル、40分程度の場所に存在する海底谷です。ここには安乗口と大山沖海底谷があり、黒潮の枝潮と反転潮が流れ海底の凹凸によりプランクトンや小魚が多く集まります。このためカジキ、マグロ、カツオなどの大型回遊魚が集まる絶好のポイントとなっております。

鳥羽マリリーナはこのように恵まれた環境下にあるため、会員様のほとんどが釣り目的でありますが皆様のお越しを心からお待ちしております。



事務局だより



理事会・総会を開催しました



5月14日、第1回定時理事会を開催



6月5日、定時総会を開催

皆様ご協力ありがとうございました。

ボートショーに出展しました



4月17日から19日の3日間、愛知県常滑市の「NTPマリナーリンク」において名古屋ボートショー2015 in 常滑が開催され、当協会は19日に第四管区海上保安本部等のご協力により、ブースをお借りして出展させていただきました。出展により、4名の方々が当協会に入会されました。関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。



ホームページをリニューアルしました



5月19日、協会ホームページをリニューアルしました。ご訪問をお待ちしております。

合同安全パトロール

7月19日、8月4日、鳥羽地区において、8月9日、尾鷲地区において、海上保安官との合同安全パトロールを実施しました。今後も各地区において実施していきます。



海上安全指導員会議及び研修



4月21日 名古屋地区



4月22日 三河地区



4月24日 四日市地区



4月27日 衣浦地区



4月28日 鳥羽地区

海上安全指導員の連絡会議と研修を5地区において実施しました。

海上安全講習会受け付けています

中部小型船安全協会では、海上安全講習会の開催を希望する団体に講師を派遣しています。
マリンレジャーを気持ちよく楽しむために、安全運航に関する知識を習得しましょう。
開催を希望する方は中部小型船安全協会までご連絡下さい。 電話 052-653-2407



メール登録して情報をGET!!

中部小型船安全協会では、会員の皆様に各種お知らせをメールで配信しています。

ついつい忘れてしまいがちな免許の更新時期や船舶の検査時期（※）をお知らせしたり、中部小型船安全協会のイベント案内、安全運航に関する情報（最近あった事故事例など）各種情報を会員の皆様にお知らせします。

メールアドレス等の登録について、会員の皆様のご協力をお願いします。

（※）メールアドレスのほか、免許登録日、次回検査日等の登録が必要です。

会費の振り込みはクレジットカードが便利

会費の振り込み時には、振込み手数料が必要でしたが、クレジットカードの利用が可能となりました。クレジットカード利用により振り込み手数料が無料となりますので、ぜひクレジットカードをご利用ください。

寄付金を募集しています

中部小型船安全協会では、皆様からの寄付金を募集しています。寄付の御礼として本紙での広告掲載をさせていただきます。

当協会の活動趣旨にご理解、ご賛同いただける事業者様のご支援、ご協力をお待ちしています。

事務局長交代



事務局長 多田一司

平成27年7月1日付で、事務局長となりました多田です。非常勤での勤務となりますが、会員皆様のご支援やアイデアを頂きながら、小型船舶の海難防止や安全なマリンレジャーの普及に努めていく所存ですので、どうぞよろしくお願い致します。

海上安全指導員になって 一緒に海の安全を守りませんか？

●海上安全指導員ってなに？

健全かつ安全なマリナー活動を推進させるため、海上保安庁では昭和49年に海上安全指導員制度を発足させました。本制度は、民間の方を、管区海上保安部長（愛知・三重県であれば第四管区海上保安本部長）が「海上安全指導員」として指定し、**海上保安官と協力して海上における安全運航に関する指導を行う制度**です。中部小型船安全協会ではこれまで約100名の方を推薦し、第四管区海上保安本部長から海上安全指導員として指定されています。

●海上安全指導員になるには？

海上安全指導員になるには以下の要件が必要です。

- ・ 25歳以上（但し、就業者は20歳以上）
- ・ 免許取得後、1年以上経過し、有効な免許を保有していること。
- ・ 海上保安部署の行う養成講習を終了している。
- ・ 中部小型船安全協会等の推薦を受けていること。
- ・ 禁固刑以上の刑に処せられ場合は、刑の執行が終わり一定の期間経過したもの。
- ・ 過去2年以内に規定の海事関係法令に違反していないこと

（詳細は海上保安本部や最寄りの海上保安部署にご確認ください）



安全パトロール旗

●何をやるの？

管区海上保安部長が一定の要件を確認し、海上安全指導員が安全パトロールに使用する小型船舶を安全パトロール艇として指定します（安全パトロール旗が貸与されます）。安全指導員は海上安全指導員手帳を携行し腕章を着用したうえで、マナー違反の操縦者に対しての安全指導や、海難防止に向けた活動を海上保安官と連携して行っていきます。

また、中部小型船安全協会では、年2回の海上安全指導員連絡会議及び海上保安部署巡視船艇との合同パトロールを実施しています。その他、各種訓練や自治体との防災訓練にも参加しています。

海上安全指導員に興味のある方は、
中部小型船安全協会 までご相談ください。
電話052-653-2407



一緒に海の安全を守りましょう！！

釣り船に海難防止を呼びかける海上安全指導員

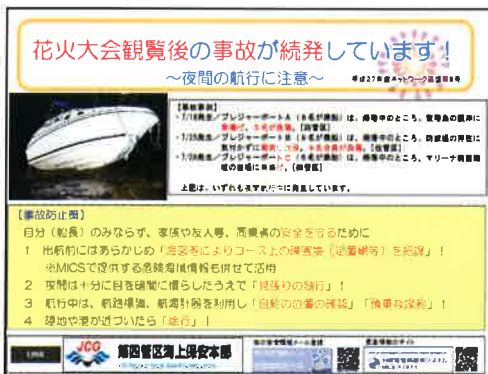
海の安全情報 発信中

第四管区海上保安本部ホームページでは、海の安全情報を発信しています。
気象状況、航行警報、各港の潮汐情報の他、事故事例やヒヤリハット事例などを紹介しています。
思わぬ事故に遭遇しないために、是非ご活用ください。

中部小型船安全協会ホームページからも情報を入手できます。

中部小型船安全協会ホームページ <http://www.shou-an4.server-shared.com/>
⇒ 「海の情報」をクリック!!

「海の安全情報」ではこのような話も紹介しています。ご活用ください。



花火大会観覧後の事故が続発しています!
～夜間の航行に注意～

【事故事例】
1) 花火大会観覧後の事故は、帰路中のところ、観覧場の周囲に発生し、生かしの危険、(航行警報)
2) 花火大会観覧後の事故は、帰路中のところ、観覧場の周囲に発生し、生かしの危険、(航行警報)
3) 花火大会観覧後の事故は、帰路中のところ、観覧場の周囲に発生し、生かしの危険、(航行警報)

【事故防止策】
自分(船長)のみならず、家族や友人等、乗客者の安全を守るために
1 出航前にはあらかじめ「定航路によりコース上の障害物(定置網等)を確認」!
※MICSで提供される危険海域情報も併せて活用
2 夜間は十分に目視確認に備えらうで「見失いの航行」!
3 航行中は、航路標識、航路計器を利用し「自航の位置の確認」「換乗を待機」!
4 磯地や港が近づいたら「減速」!



現代の「安心・安全」をスマートフォンに任せてはなりません

スマートフォンを操作している間は、船舶の航行状況を確認できず、危険な航行を招く可能性があります。

【安全確保】
1. 航行中はスマートフォンを操作しない。
2. 航行中にスマートフォンを操作する場合は、船舶の航行状況を確認する。
3. 航行中にスマートフォンを操作する場合は、船舶の航行状況を確認する。



沿岸海域の定置網に注意!

MICSスマートフォン用サイト

定置網へ乗掛ける船舶が増えています。定置網の設置状況について、事前に把握し、安全な航行をしましょう!

定置網設置状況は下記サイトから情報収集できます。

(1) MICSスマートフォン用サイト
<http://www.6.kaiho.mlit.go.jp/nc/index.html>
(2) 漁民設置場所情報サイト
<http://www.1.kaiho.mlit.go.jp/KAN4/kouka/noria/m/4noriam.html>

安全標語を募集しています!!

当協会では安全運航にかかる標語を募集しています。皆様からのご応募をお待ちしています。

平成26年度安全ポスター標語 **「海楽し 持って帰ろう 安全を」**
(応募先) 中部小型船安全協会 shou-an4@galaxy.ocn.ne.jp

会員だより投稿募集中

本紙マリンエンゼル(中部小型船安全協会)では、会員だよりの投稿を募集しています。会員皆様のちょっとした体験、自慢話、失敗談、趣味の話、ヒヤリハットの話、お店の紹介などなど、ジャンルは問いません。皆様からの楽しい話や写真をどしどしお寄せ下さい。

(送付先) 中部小型船安全協会 shou-an4@galaxy.ocn.ne.jp

空撮、遊覧、チャーターフライト、
航空機の格納などお気軽にご相談下さい。



ホクト商事グループ

株式会社 セコ・インターナショナル

本社 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南一丁目20番21号
Tel (052) 586-3177 Fax (052) 586-3175
SIJ名古屋空港 〒480-0202 愛知県西春日井郡豊山町豊場名古屋空港内
事業本部 Tel (0568) 39-2122 Fax (0568) 39-0818
URL : <http://seco-air.com>



多岐にわたる事業。
それはお客様と共に
成長し続けた実績です。

経理・会計

電算受託計算業務

自動車事業

新車・中古車販売・
板金・車検・修理

**ビル管理・
店舗運営管理**

不動産貸付・
設備維持管理業務

デザイン事業

広告デザイン・印刷加工・
web制作/運営

マリン事業

中日本Seamen's Club・
小型船舶販売修理・免許教室

飲食事業

喫茶店「クリスタルリバージュ」
OPEN.AM8:00~PM6:00
モーニングあり



株式会社 中日本開発

中日本開発は、出する全ての技術やネットワークを駆使して、お客様のご協力をさせていただきます

TEL.052-763-7700(代表) **FAX.052-763-7701** URL.<http://www.nakanihonkaihatsu.com/>
〒464-0074 愛知県名古屋市中区千種区仲田2-14-16 中日本開発ビルディング6F



保管艇募集中!!

伊勢湾の中心に位置するマリーナ河芸。
各方面へアクセスもよく、魚場の豊富な鳥羽へは約1時間で到着。
近郊ポイントでもキス・カマス・ハマチ・サワラなど
季節に応じて旬の魚が狙えます。
防波堤に囲まれた掘り込み式のマリーナなので、
港内は波の影響を受けずに常に穏やか、船中泊にも最適です。
海に関わる様々なプランを企画し、
新しいマリライフをご提案致します。

いろんなスタイルで
海との関わりをご提案

- レンタルボート「Sea-Style」加盟マリーナ
- カフェレストラン マーメイド
- 自然体験学習 海の学舎 -うみのなまびや-
- 宿泊施設「三重マリンセンター」

みえ かわげ 海の駅 **マリーナ河芸** <http://www.marina-kawage.co.jp>

〒510-0303 三重県津市河芸町東千里854-3 (TEL) 059-245-5001 (定休日) 火曜日 近鉄名古屋線千早駅より徒歩8分

DAIICHI



「海のはじめの一步」から 本格的ボートライフ」まで トータルサポート

●店舗・サービスセンターのご案内

ボート新車・中古車の販売からボート免許、レンタルボートに至るまでマリライフをトータルサポート。これからマリンを始めたい方や、現在のマリステージをステップアップしたい方などどんなことでもご相談に応じます。

□ヤマハボート・中古ボート

ヤマハの新車、中古車など常時展示し、専門のスタッフがお客様のニーズに合った艇をアドバイス。

□マリン用品

マリン用品としては「海のコンビニWAVE」にて数多くのマリングッズを展示し、ステンピス1本から外洋トローリング用品まで1万円以上のアイテムで圧倒的な品揃えとなっており、価格も直輸入品も含め非常にリーズナブルです。

□メンテナンス

アフターサービスも万全。三重県下各所にサービス拠点を置き、万が一のトラブルや日常点検整備も安心です。

□ボートライセンス

1級、2級ボートライセンスを常時受付し受講できます。国家試験受験で短期間、低料金で人気です。

□マリーナ河芸

マリーナ河芸には保管艇、レンタル艇など250艇ほどがあり、それらを眺めながらじっくりとお客様のプランにあった艇を選んでいただけます。このマリーナは眺めているだけでも海を満喫できます

株式会社 **ダイイチ**

www.wan-wan.co.jp

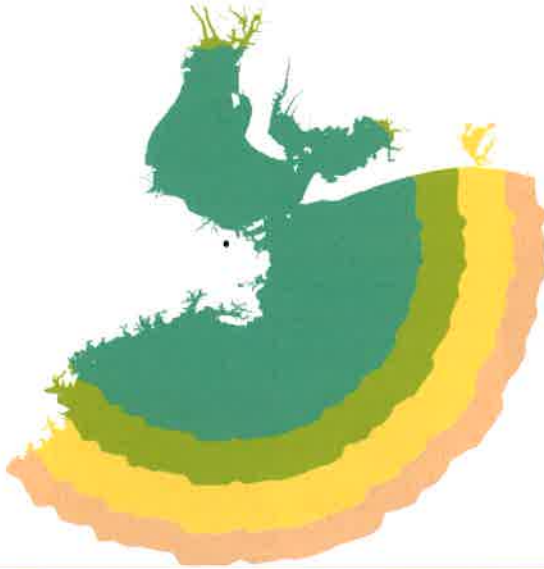
e-mail: miedaiichi@wan-wan.co.jp

□ダイイチ・WAVE河芸店	〒510-0303	三重県津市河芸町東千里854-3	TEL:059-245-5501	FAX:059-245-5002
□ダイイチ・WAVE伊勢店	〒519-0504	三重県伊勢市小俣町宮前726	TEL:0596-22-3165	FAX:0596-22-3167
□ダイイチ名古屋店・海蔵UMIKURA	〒456-0043	愛知県名古屋市熱田区神戸町1001	TEL:052-679-5601	FAX:052-679-5595
□中古ボートセンター三重	〒510-0303	三重県津市河芸町東千里862	TEL:059-245-5445	FAX:059-245-5448
□河芸サービスセンター	〒510-0303	三重県津市河芸町東千里854	TEL:059-271-0999	FAX:059-271-0777
□合歓の郷サービスセンター	〒517-0403	三重県志摩市浜島町迫子2692-3	TEL:0599-52-1502	FAX:0599-52-1508
□マリーナ河芸	〒510-0303	三重県津市河芸町東千里854	TEL:059-245-5001	FAX:059-245-5002

海を愛する、皆様の”安心と安全”をサポートします！

マリーナ海岸局ネットワークサービスが開始されます。国際 VHF 無線機 (DSC 機能搭載) の船舶位置情報をキャッチ！海上航行する船舶の「安心と安全」を見守ります。

中部マリン無線協会 (朝熊山山頂：受信所) 電波伝搬シミュレーション図
<伊勢湾・三河湾・遠州灘海域・熊野灘海域等を見守る航行エリア概要>



船舶の位置情報検索表示システム

マリーナ海岸局では、所属船舶との音声通信に加え、所属船舶から自動また任意に送信された位置情報をマリーナの専用 PC で表示することが可能となります。
※既設の PC (専用ソフトをインストール) の専用電子海図上に登録された各船舶の位置情報が表示され、同時に受信船舶履歴データが保存されます。したがって、日常的に所属船舶の動静の安全管理ができる安心システムです。

※無線機本体の DSC (デジタル選択呼出「受信」装置機能利用)

会員募集中！！

※ネットワークマリーナ会員同時募集

<中部マリン無線協会>

“マリーナ海岸局ネットワーク” 中部マリン無線協会
TEL 059-245-5001 E-Mail info@marine-vhf.jp

<http://marine-vhf.jp/>

TOKAI MARINE RACING TEAM

<http://www.tokaimarine.co.jp>



TOKAI  MARINE

有限会社 東海マリンサービス
〒479-0848 愛知県常滑市港町4丁目16番地
TEL 0569-43-3007 FAX 0569-42-0633

印刷でお役にたちたいと思っております

名港印刷株式会社

取締役社長 下郷 正己
Shimogou Masami

〒455-0044 名古屋市港区築三町3-6
TEL 052-652-3311 FAX 052-652-3315
携帯 090-8544-7716
E-mail: shimogou@meikou-p.co.jp URL <http://www.meikou-p.co.jp>

NTP 2つのマリーナ

愛知県

NTPマリーナりんくう

〒479-0882 愛知県常滑市りんくう町3-6-1 TEL:0569-35-7200



DATA

定休日:火曜日 営業時間:9:00~17:00(GW~9月は、9:00~18:00)
 収容隻数:185隻(陸上保管150隻、海上保管35隻) 上下架施設:2基(60t、20t)
 施設:マリーナハウス(「りんくう・とこなめ海の駅」基地事務局)、マリンプラザ、ゲストハウス、
 サービスセンター(24m級の艇を4艇収納可能)、給油施設:6基 etc. 駐車場:202台

ACCESS

電車の場合:名鉄線「りんくう常滑」駅下車。徒歩5分。
 車の場合:名古屋中心部より約40分。セントレアから知多半島道路を経て約5分。



www.ntp.co.jp/marina/rinku/

空から海へアクセスできる、
新しいマリンライフ。

中部国際空港「セントレア」に隣接し、70フィートクラスの大型艇保管にも対応。サービスセンターは、24m級のボートを4艇収納可能な修理ヤードも完備。ロケーションでは伊勢湾・三河湾をはじめ伊勢志摩や御前崎・潮岬と、外洋クルージングやフィッシングが楽しめる、ポートオーナーのあらゆるニーズに応える環境と施設・設備を誇る、中部エリア最大クラスのマリーナです。



▲「りんくう・とこなめ海の駅」
基地事務



マリーナハウス▶

愛知県

NTPマリーナ高浜

〒441-1325 愛知県高浜市青木町1-1 TEL:0566-54-5300



DATA

定休日:火曜日 営業時間:9:00~17:00(GW~9月は、9:00~18:00)
 収容隻数:380隻(陸上保管120隻、海上保管260隻) 上下架施設:2基(25t、4.8t)
 施設:クラブハウス(「たかはま海の駅」基地事務局)、レストハウス、修理工場、給油施設、
 駐車場 etc.

ACCESS

電車の場合:名鉄三河線「三河高浜」駅下車。タクシーで約5分。
 車の場合:名古屋中心部より約45分。



www.ntp.co.jp/marina/takahama/

「家族で楽しむ海」をコンセプトにした
家庭的なマリーナ。

高浜市衣浦港の一面に位置し、周辺の水面は非常に穏やかで、船底汚れが少ない汽水域となっている。名古屋中心部から車で45分と立地に優れ、アットホームな雰囲気と高いホスピタリティを誇ります。これまでの限られた人の楽しみであった海をもっと身近に感じていただきたい。もっと気楽に海の楽しみを存分に味わっていただきたい。そんな思いを大切にしたいマリーナです。



▲「たかはま海の駅」
基地事務



クラブハウス/メインサロン▶

名古屋トヨペット マリン事業部

〒479-0882 愛知県常滑市りんくう町3-6-1 マリーナりんくうマリンプラザ内

TEL: 0569-35-7200 E-mail: marine@ntp-g.com

さらに詳しい情報は



公益社団法人

中部小型船安全協会

個人会員募集中!!

～一緒に海の安全を守りませんか?～



当協会は、愛知・三重におけるモーターボート、ヨットなど小型船舶の「海難防止」や「マナーの向上」をめざして活動しています。

安全運航のための知識やマナーを向上させましょう!!

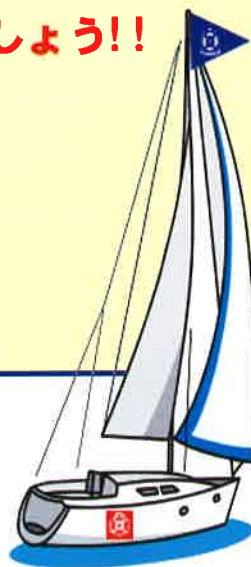
楽しいイベントやボランティア活動に参加しましょう!!

★会員証、会員旗の配布

★安全講習会、体験教室への参加と受講ステッカーの配布

★安全運航に役立つ情報の提供、会員相互の交流

★海上保安庁と合同で、安全パトロール、海上パレード



【入会、問い合わせ】

(公社)中部小型船安全協会

TEL (052) 653-2407

【協力】

海上保安庁

第四管区海上保安本部

目次

- ◎ご挨拶 2
- ◎当協会のマリナー会員が「安全推進マリナー」に認定 3
- ◎表彰受賞 4
- ◎出艇式 6
- ◎会員だより 8
- ◎船のクイズ 11
- ◎会員マリナー紹介 12
- ◎事務局だより 14
- ◎お知らせ 18

会費納入のお願い

会費を納めてない方はお手数ですが、至急ご送金下さるようお願いいたします。

①現金書留

名古屋市港区港町一番十一号

名古屋港湾会館3F

(公社)中部小型船安全協会

②銀行振込

名古屋銀行 港支店

口座名 (公社)中部小型船安全協会

口座 普通 一八四六八三

③郵便為替

・加入号 (公社)中部小型船安全協会

・00810118122723

通巻 第96号
平成27年 9月
発行所

公益社団法人 中部小型船安全協会
〒455-0033
名古屋市港区港町1番11号
名古屋港湾会館 3F
TEL(052)653-2407
FAX(052)653-2414
編集兼発行人 多田 一司